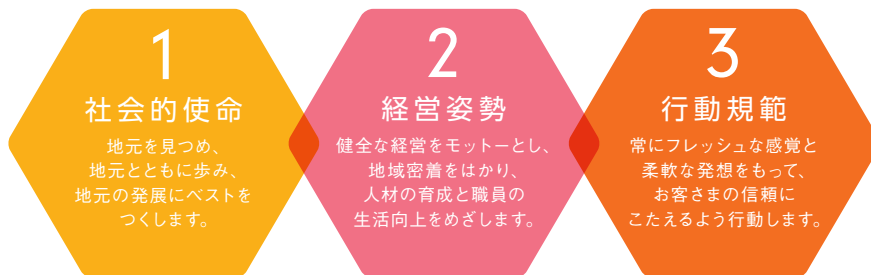


## 経営理念



以上3つの経営理念を踏まえ、「新潟県下の中小企業者、勤労者のため相互扶助の精神に基づく金融の円滑化を通じて経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図りつつ地域経済の発展に貢献する」ことを基本方針に掲げています。

## 経営ビジョン

当組合では、2022年4月から2025年3月までを計画期間とした「第19次中期経営計画」への取り組みを行っております。

この中期経営計画では、当組合が地域金融機関としての社会的使命を果たしていくために、地域社会・お客さまの課題解決に取り組み、地域に寄り添いながら、地域と共に走り続けることにより当組合の存在力を発揮し、地域との共生を目指していくという考えのもと、テーマを「地域との伴走・共生～顧客との信頼関係の再構築・強化を目指して～」としています。

本計画は3年計画とし、経営課題として「人的資源の活性化」「地域力の発揮」「組織体制の確立」「収益力の向上」「健全性の強化」の5項目を掲げ、組織全体で総力をあげて計画の達成に向けて取り組み、地域社会の発展に貢献してまいります。

地域経済を取り巻く環境は、コロナ禍や資源高等の影響による経済環境の悪化に加え、多くの事業者にとってコロナ関連融資の返済が本格化する時期を迎えており、依然として厳しい状況にあります。当組合では、ポストコロナに向けた資金繰り支援や収益力改善・事業再生・再チャレンジ支援等の地域のお客さまに寄り添った総合的支援に取り組んでまいります。

## 5つの経営課題

### 1 人的資源の活性化

現状の人員構成を踏まえ、将来における業務遂行体制を見据えた人材育成・能力開発に取り組み、若手職員をはじめとする組織全体の業務の質的な向上を図ることにより、お客さまの多様なニーズに柔軟に対応し、地域で活躍できる「自立型人材」を育成します。働き方改革への取り組みでは、仕事にやりがいを持てる活気ある職場づくりを進め、適正な労働時間管理や有給休暇取得推進等の雇用環境の改善により、ワークライフバランスの一層の向上に取り組みます。

### 2 地域力の発揮

SGM体制の機能強化として、「ソリューション活動」では、これまで以上に地域やお客さまの課題解決に積極的に関与します。「地域貢献活動」では、現在の活動を充実させるとともに、新たなテーマを追加し、活動の実効性を高めます。営業推進力の強化に向けて、目標管理と推進活動の徹底を図るとともに、表彰制度を通じた目標達成への意識醸成を図ります。ポストコロナへの対応として、資金繰り支援や収益力改善・事業再生・再チャレンジ等の総合的支援に取り組みます。

### 3 組織体制の確立

抜本的な業務改革を進めるため、デジタル化推進チームを結成し、非効率業務の見直しや事務負担の軽減、作業手順の合理化等について組織横断的に取り組みます。営業店のさまざまなニーズを確認し、営業店業務の改善に向けたサポート体制を強化します。ホームページやSNS等の活用による情報発信力の強化を図ります。

### 4 収益力の向上

資金収益の増強に重点を置き、貸出量の増加および貸出金利回りの向上、役務収益の強化に向けた取り組みを実行します。予算管理を徹底し、経費等の見直しによるコスト削減を進め、OHRの改善を図ります。経営基盤の強化に向けて個別推進項目を選定し、かつ重点項目の明確化により全項目の達成を図ります。市場運用力の強化などの取り組みを通じて、収益力の向上を目指します。

### 5 健全性の強化

資源高等の影響による経済環境の悪化やコロナ関連融資の返済本格化によって不良債権の増加が懸念されます。信用コストの増加に備えて、信用リスク管理態勢の強化を図ります。市場運用面では、金利上昇による資本の健全性への影響に対応するため、統合的リスク管理態勢を強化します。また、全役職員のコンプライアンスの徹底を図るとともに、BCP（事業継続計画）やサイバーセキュリティ対策等への理解向上を図り、リスク管理態勢の整備・構築に取り組みます。リスクベース監査の確立、経営への牽制機能の構築によるガバナンスの強化を図り、経営の信頼度を高めます。マネロン・テロ資金供与対策管理態勢の強化を図るとともに、反社会的勢力への対応やマネロンガイドラインに基づく態勢整備に取り組みます。

## 経営環境

令和4年度の県内経済は、春先に「まん延防止等重点措置」により人流に制限がかかり、飲食やサービスなどの業種を中心に消費需要の低迷が続きました。さらに、ウクライナ危機を契機として世界的な資源高が加速する中、日米の金利差を背景とした急速な円安の進行によって国内でも物価上昇が進み、価格転嫁の難しい中小零細企業は厳しい経営環境に直面しました。一方、夏以降、第7波が落ち着いた後は、ウィズコロナに移行し、全国旅行支援や水際対策の緩和など各種施策のもとで景気に持ち直しの動きがみられました。また、年間を通じて設備投資が堅調に拡大したことが景気の下支えとなりました。ただし、年明け以降、過度なインフレと金利上昇による海外経済の減速を受けて輸出を中心に県内経済にも逆風が吹き、景気回復はやや足踏みとなりました。

国内景気については、物価上昇と海外景気の悪化という逆風の中で輸出は弱含みで推移するものの、内需を中心に1.0%程度の経済成長を見込んでいます。コロナ禍で抑制された外出関連の消費需要が回復するほか、経済対策やインバウンド需要の持ち直しなどを受けてプラス成長が見込まれています。物価については、米国の利上げや世界経済の減速による国際市況の軟化を背景に、足元の物価高の要因となっている円安や資源高が今年後半にかけて落ち着いていくものとみられています。

地域金融機関を取り巻く環境は、これまでにない大きな変化に見舞われています。特に、人口減少による地域経済の衰退と中小零細企業の休業の増加、資源高や金利上昇等による収益環境への影響、フィンテックの進展に対応したDXの推進、持続可能な社会の実現に向けたSDGsの取り組みなどさまざまな課題への対応が必要となっています。こうした環境変化に対し、地域密着型金融の一層の強化と、事業性評価に基づく融資を積極的に進めることが求められており、顧客本位の業務運営の徹底も必要不可欠な課題となっています。また、高度化・複雑化するサイバー犯罪に対するセキュリティ対策やマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策に向けた態勢整備、特殊詐欺などの金融犯罪防止に向けた取り組みを一層強化する必要があります。

こうした状況のもと、当組合は地域金融機関としての社会的使命を果たしていくために、地域社会と地域のお客さまの課題解決に取り組み、地域に寄り添いながら、地域と伴に走り続けることにより当組合の存在力を発揮し、地域との共生を目指してまいります。そして、地域の事業者への資金繰り支援や経営改善支援、本業支援等に積極的に関わり、コロナ後の地域経済の創造に向け、組織全体で総力をあげて取り組む所存でございます。

## 第19次中期経営計画(2022年4月～2025年3月)

テーマ

### “ 地域との伴走・共生 ”

～顧客との信頼関係の再構築・強化を目指して～

#### 5つの 経営課題

##### 2. 地域力の発揮

- SGM体制の機能強化
- SDGsへの取り組み強化
- 営業推進力の強化
- 顧客保護の徹底
- ポストコロナへの対応
- コンサルティング機能の強化

##### 4. 収益力の向上

- 資金収益の増強
- 個別推進項目の推進強化
- 役務収益の強化
- 市場運用力の強化

##### 1. 人的資源の活性化

- 適正人員の確保
- 自立型人材の育成
- 働き方改革への取り組み

##### 3. 組織体制の確立

- 店舗体制の最適化
- 営業店支援体制の構築
- 業務の効率化  
(デジタル化の推進)

##### 5. 健全性の強化

- 資産の健全化
- リスク管理への対応
- 内部監査の高度化
- ガバナンスの強化
- マネロン・テロ資金  
供与対策の高度化

#### 業 容

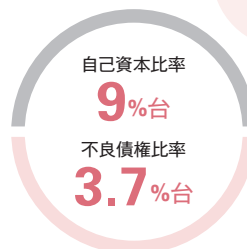


#### 収益性



#### 計 数 目 標

#### 健全性



#### 効率性



#### 用語解説

##### ●コア業務純益

コア業務純益は業務純益から債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を控除して算出した中核的な業務純益を表します。

##### ●コアOHR

OHRは、業務粗利益(業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 + 経費)に占める経費の割合で、効率性を表す指標の一つです。コアOHRは業務粗利益から債券関係損益を控除して算出したもので、債券による損益の影響を除いて表示しております。

新潟県信用組合のSDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs目標	取り組み事項
<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>  <p><b>質の高い教育をみんなに</b></p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>けんしん育英会</b> 昭和54年に創立30周年事業の一環として設立、令和5年7月現在で累計432名に奨学金を貸与</li> <li>・<b>お客さま向けセミナーの開催</b> 「創業アカデミー」「事業承継セミナー」【業種限定】販売促進セミナー等の開催</li> <li>・<b>学資ローンの取扱い</b> 入学金、授業料から学生の家賃、生活費等、就学に関わる費用の支援に向けて、「けんしん学資ローンスタディ」を推進</li> </ul>
<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p><b>ジェンダー平等を実現しよう</b></p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>管理職への女性参画</b> 管理職への女性登用に向けた取り組み、継続就労への支援、能力開発・キャリア形成等の取り組み</li> </ul>
<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p><b>エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b></p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>再生エネルギー関連事業分野への取り組み</b> 地球温暖化対策や再生可能エネルギー事業等のクリーンプロジェクト分野への資金提供について、金融商品等を通じた取り組み</li> </ul>
<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>  <p><b>働きがいも経済成長も</b></p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>企業支援活動に基づく経営支援</b> 企業支援活動に基づく経営支援（創業支援、成長支援、経営改善支援、事業承継支援）の取り組み</li> <li>・<b>ビジネスマッチング</b> 当組合のネットワークを活用した「けんしんビジネスマッチングサービス」の取り組み、個別商談会の開催、ビジネスマッチング展、商談会等への協賛</li> <li>・<b>働き方改革</b> 残業時間の削減による「長時間労働の是正」への取り組み、管理者の時間外労働の削減に向けた取り組み、シニア人材の活用に向けた取り組み</li> </ul>
<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>  <p><b>住み続けられるまちづくりを</b></p> <p>包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>1店一貢献運動</b> 平成4年から全店を挙げて取り組んでいるボランティア活動などの地域貢献活動</li> <li>・<b>地方創生への取り組み（SGM活動）</b> 平成28年度からSGM体制を導入し、全店を10グループに分け、各地域の特性を踏まえたソリューション活動、地域貢献活動を実施</li> <li>・<b>地域行事・事業等への参加</b> 地域ぐるみの行事や活動等への積極的な参加による地域住民とのコミュニケーション作り</li> </ul>
<p><b>15</b> 陸の豊かさを守ろう</p>  <p><b>陸の豊かさを守ろう</b></p> <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>「にいがた緑の百年物語」活動への協賛</b> 公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会の一員として、プレミアム金利付「SDGs定期預金 緑百年物語」の販売を通じた、「にいがた緑の百年物語」活動の普及と同商品募集終了後に寄付を実施。（お客さまのご負担はございません。）</li> </ul>